

日本学生支援機構奨学金（第一種・第二種奨学金）申請書

◎本紙を記入する際、事前に「貸与奨学金案内」および「スカラネット入力下書き用紙」の内容をよく確認し、用語、内容を理解した上で記入してください。

1. 申請にはこの申請書のほか、次の書類が必要になります。
 - ① 1年生のうち第一種奨学金（併用貸与を希望する場合も含む）を申し込む場合は、厳封された調査書（卒業の記載があること。開封済みは無効）
 - ② 外国籍の者のみ、在留カードまたは特別永住者カード
2. この申請書や必要書類が不備なく大学に提出された後、ID・パスワードを配布します。この ID・パスワードを使用し、各自がインターネットで正式に申し込む必要があります。（「スカネット入力」と言います。）この手順を怠ると、選考から除外されます。この申請書に記入した内容も入力する必要がありますので、記入後、必ずコピーをした上で提出してください。「スカネット入力」をした情報がそのまま返還誓約書に印字されます。特に住所、カナ氏名、生年月日の誤入力に注意してください。詳しい入力要領は、ID・パスワードとともにお渡しします。
スカネット入力後、1週間以内に「奨学金確認書兼地方税同意書」を専用封筒に入れて簡易書留で送付してください。
3. 選考結果は、8月上旬に Oh-o!Meiji において発表する予定です。
推薦者になった場合は、採用が決定後、「奨学生証」「返還誓約書」を受け取り、「返還誓約書」などの必要書類を指定日までに提出してください。

1 誓約欄

奨学金案内 ASSIST 掲載の個人情報利用目的を確認・同意の上、日本学生支援機構奨学金に申し込みます。日本学生支援機構奨学金の申し込みにあたり、「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載されている「貸与申込の条件等」および「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」を確認、承認した上で、「奨学金確認書兼地方税同意書」および必要証明書類を提出します。 下記の申請書記載事項について正しく記入し、定められた書類を提出後、インターネットにより 日本学生支援機構へ大学が指定した期限までに正式な申し込み手続きを行います。奨学生として採用されたときは、定められた期限までに「返還誓約書」を作成し、提出することを誓約します。			
申請日：	年	月	日
学部		ふりがな 学科 氏名：	

2 申請者情報

学生番号									携帯電話番号		学 年	年
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	-----	---

3 スカラネット入力情報

※以下、「貸与奨学金案内」を(奨)、「スカラネット入力下書き用紙」を(ス)と略し、主な参照ページを記載します。

①-誓約情報

⑨ P.9~10 ⑩ P.3

国 籍	☐ 日本国籍 ☐ 日本国籍以外（次のいずれかの在留資格に該当する場合のみ申請可）	☐ 永住者 ☐ 日本人の配偶者等 ☐ 永住者の配偶者等 ☐ 定住者（永住意思あり） ☐ 家族滞在（ ☒ P.9 に記載の要件を満たす）
-----	---	---

②-申込情報

Ⓐ P.11~13 (学力・家計基準) P.32 (申込情報) Ⓑ P.3~4

希望する奨学金の申込パターンを1つ選択（右下の記入欄に1~14の数字を記入） (a). 第一種奨学金または第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ (1) 第一種奨学金のみ希望 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望 (3) 第二種奨学金のみ希望 (b). 併用貸与を希望する人のみ (4) （※<u>原則として選択しないこと</u>）第一種奨学金および第二種奨学金との併用貸与を希望 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望 (6) 併用貸与と不採用および第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望 (7) 併用貸与と不採用の場合、第二種奨学金のみ希望 (c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ（予約採用者含む） (8) 第二種奨学金の貸与を受けているが、第一種奨学金への変更を希望 (9) 第一種奨学金の貸与を受けているが、第二種奨学金への変更を希望 (10) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望 (11) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望 (12) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望。併用貸与と不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望 (13) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望。併用貸与と不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望 申込区分 記入欄	通学形態 ☐ 自宅 ☐ 自宅外 左記で(8)(9)(10)(11) (13) (14)を選択した人は、下に奨学生番号を記入してください。（予約生で奨学生番号がまだ分からない場合は、仮の番号として 825-04-999999 と記入してください）。この申請書提出後に行うスカラネット入力でも同様に、上記仮番号を入力してください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 12.5%; height: 40px;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table> 下に該当する者はチェックをつけてください。 ☐ 生計維持者の住民税が非課税 ☐ 生活保護受給世帯 ☐ 社会的養護を必要とする者												
	事務使用欄 ☐ 3.5 以上 ☐ 3.5 未満												

⑦－保証制度、⑧－返還誓約書情報

奨P.23～28、P.66～68 返P.10～12

保証制度の選択		☐ 人的保証 ☐ 機関保証 ※第一種奨学金または併用貸与を希望し、かつ第一種奨学金の返還方法は所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金は機関保証しか選択できません。																	
※人的保証選択者のみ記入										保証人は生計維持者（父・母）および原則 65 歳以上の方は不可です。									
連帯保証人 情報		氏名		年齢 歳		続柄		☐ 承諾 済み		保証人 情報		氏名		年齢(65 歳以上不可) 歳		続柄		☐ 承諾 済み	

人的保証の場合は、連帯保証人・保証人を必ず記入してください。保証人の記入漏れが例年散見されますのでご注意ください。

⑨－あなたの家族情報

奨P.14～15 返P.12～15

主として家計を支えている人 生計維持者①				その他に家計を支えている人（無職、専業主婦（夫）含む） 生計維持者②			
続柄： ☐ 父 ☐ 母 ☐ その他（ ）		氏名：		続柄： ☐ 父 ☐ 母 ☐ その他（ ）		氏名：	
以下の事項で該当する場合はチェックをつけてください。 ☐ (1). 生計維持者①は 2023 年 1 月 2 日以降に転職した 転職した場合でも、減収していない場合はチェック不要です ☐ (2). 生計維持者①は 2024 年 1 月 1 日の時点で生活保護を受けていた ☐ (3). 生計維持者①は 2024 年 1 月 1 日の時点で日本国内に住んでいなかった				以下の事項で該当する場合は☑をつけてください。 ☐ (1). 生計維持者②は 2023 年 1 月 2 日以降に転職した 転職した場合でも、減収していない場合はチェック不要です ☐ (2). 生計維持者②は 2024 年 1 月 1 日の時点で生活保護を受けていた ☐ (3). 生計維持者②は 2024 年 1 月 1 日の時点で日本国内に住んでいなかった			

あなたの生計維持者が扶養している子どもの数（あなたを含む）	
2023 年 12 月 31 日時点で、あなたの生計維持者が扶養している子ども（あなたを含む）の人数	人
2024 年 12 月 31 日時点で、あなたの生計維持者が扶養している子ども（あなたを含む）の人数	人

⑩－家庭事情情報

奨P.14～15 返P.16

奨学金を申請するに至った家庭事情や、理由を具体的に記入してください（150 文字以上は記入してください）。																				50
																				100
																				150
																				200